

渡辺復興大臣日本経団連訪問ぶら下がり会見録
(平成31年2月21日(木) 14:55~14:58 於) 経団連会館)

1. 発言要旨

冒頭発言はございません。

2. 質疑応答

(問) 今、マスコミが出てから、また様々お話しをされたと思うんですけれども、今後について、具体的などんなお話をされましたでしょうか。

(答) まずは、人材の派遣です。復興庁としましても、経団連から人材を多く派遣をしていただいております。全ては、やはり人であるので、そういった意味で、継続的にお願いをしたいということです。経団連の方も引き続き応援していくという話であります。

(問) あとですね、県産品の利用拡大ですとか、結の場ですとか、企業との連携もあるんですけど、そのあたりはどのようなお話をされましたか。

(答) 私の方から、そういったお話はさせていただきました。

特に県産品の関係でいきますと、福島は風評被害で大変な思いをしております。福島県産については、我々もしっかりと応援をしていくということではありますが、経団連におかれましても、こういった風評被害に対して、払拭をするための対応をしていきたいという話であります。

(問) 企業との連携はいかがですか。

(答) 企業連携については産業、なりわいの一番基本的な問題でありますので、これは引き続き、お願いをしてまいりました。これは経団連も同じように実施をしていくという話であります。

(問) 今の企業の部分に関連するんですけども、沿岸で区画整理など終わって、企業の立地を望んでる自治体が多いと思うんですけれども、そのあたり、沿岸部への企業の誘致、あるいは進出というところに関して、会長の方から何かお話がありましたでしょうか。

(答) 具体的な話としてはございません。

ただ、全体として、企業立地というのは地域の活性化にとっても大変重要なことありますので、この点については、引き続き私の方からもお願いをしてまいりたいというふうに思います。

(問) 福島県産品の風評払拭に関してなんですけど、経団連も今までマルシェやフェアという形で御協力いただいていましたが、今回また新たに経団連さんの方からご協力したいというふうなお申し出というのは何かあったんでしょうか。

(答) 復興支援の応援であるマルシェは、引き続きお願いしていきたいということでもあります。更に人材の派遣は、自分自身の成長にもつながることであることから、引き続き派遣をしていきたいという話でありました。

(以 上)